

小保連携の取り組み ～保育所から小学校への移行と育ちのつながり～

【目的と経緯】

- ・ 教育環境や学習指導のあり方について理解を深める。
- ・ 幼児期教育と小学校教育のつながりを円滑にし、それぞれの指導に生かす。
- ・ 課題を共有することで、保護者に対する指導のあり方や方法の一貫性を保つ。

数十年前より小学校見学、小学校 1.2 学年の生活科の授業の学習を通してはじまった小保連携の取り組み。現在は本園の「小学校につなぐ5歳児アプローチカリキュラム」を基に、継続的な活動を実施している。

【内容】

- ☆ 保育士の小学校授業参観
- ☆ 1 学年教師による体験授業（出前授業）
- ☆ 1 年生と年長児との交流会
- ☆ 1 年生、年長児保護者のアンケートによる情報交換
- ☆ 学校体験（もうすぐ1年生） など



【成果と課題】

- ・ 就学前園児が小学校の生活を身近に感じ、入学時の不安が軽減されるとともに、就学への期待感へとつながる。
- ・ 年下の子どもと交流することで、児童が思いやりの気持ちや自身の成長に気付く機会となる。
- ・ 小学校の保護者と就学前園児の保護者の情報共有により、安心して入学に向けた準備に取り組み、地域の子どもの成長を一緒に見守ることができる。
- ・ 小保連携の取り組みを今後も継続して行う事ができるように、相互の理解と協力体制の強化を図っていく必要がある。

